

公共施設調査・整備特別委員会

令和7年3月13日

1 報告事項

(1) 令和7年度 子どもの遊び場事業について

【資料】

(2) 和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備について【資料】

2 その他

3 閉会中の特定事件継続調査事項について

令和 7 年度 子どもの遊び場事業について (ふじみこどもひろば及び旧九段中学校)

【背景・経緯】

平成 28 年 2 月より実施してきた、衆議院九段議員宿舎跡地での遊び場事業（ふじみこどもひろば）については、区が衆議院より借用した土地を活用した事業であり、時期は未定であるが将来使えなくなることを考慮しつつ、継続的に遊び場を確保していく必要がある。

こうした中、昨年 8 月の衆議院議院運営委員会の中で九段議員宿舎の設計に係る予算を計上する旨が明らかとなった。

これらを踏まえ新たな遊び場を模索してきたが、仮校舎として利用していた旧九段中学校の活用が可能であると考え、本事業の継続や充実等について検討を重ねてきたところである。

1 実施内容（主な変更点）

- (1) 主に代替園庭として利用してきた、ふじみこどもひろば・乳幼児広場は実施を継続する。
 - (2) 乳幼児広場について、夏季は空調管理ができる旧九段中の体育館で実施するとともに、8 月の利用時間をこれまでより拡大する。また、雨天時も利用可能である。
 - (3) 土日祝日（8 月は朝夕各 1 時間）のみであった子ども広場での事業は、旧九段中（校庭と体育館）を活用して平日も加えて毎日実施するとともに、8 月の利用時間を拡大する。
 - (4) 子ども広場は、旧九段中の校庭が使えない時や、体育館、乳幼児広場も含めて満杯となる見込みがある場合等、必要に応じて借用することが可能である。（都度利用料を支払う）
 - (5) 乳幼児や小学生（保護者を含む）であった対象を、曜日や時間帯により中高生まで拡大することを検討している。また、用途についてもキャッチボール、球技等への拡大を検討している。
- ※令和 2 年に暫定広場として開設し、代替園庭での利用が多い富士見二丁目広場（政策経営部所管：令和 7 年 6 月閉鎖）の利用者には、乳幼児広場や旧九段中の利用を促す。

2 実施概要

(1) ふじみこどもひろば 富士見二丁目 14 - 3

	令和 6 年度まで	令和 7 年度
乳幼児広場 (300 m ²)	通年 9～17 時 (8 月は 9～10 時、16～17 時)	通年 9～17 時 (夏季、雨天時は旧九段中体育館で実施)
子ども広場 (2,700 m ²)	土日祝日のみ 9～17 時 (8 月は 9～10 時、16～17 時)	旧九段中の校庭が使えない場合等、必要に応じて活用

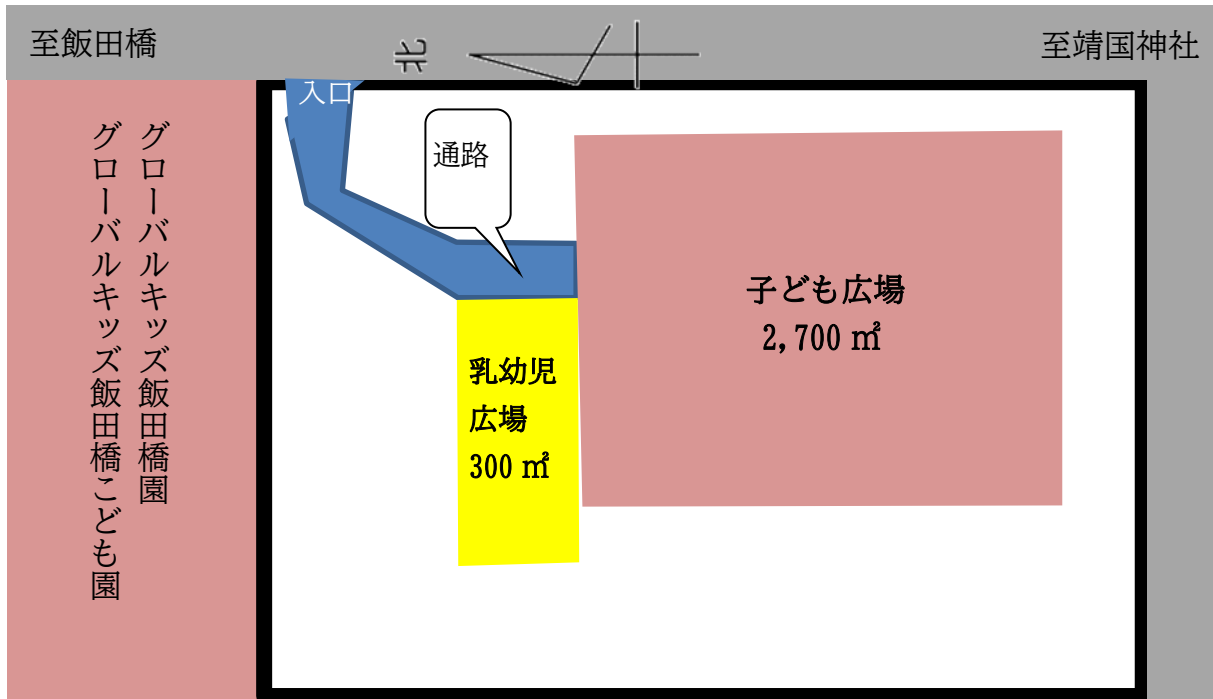
(2) 旧九段中学校 富士見一丁目 1 - 6

	令和 6 年度まで	令和 7 年度
校庭 (約 1,240 m ²)	—	通年 9～17 時
体育館 (約 450 m ²)	—	通年 9～17 時 ※空調管理する

3 ふじみこどもひろば及び旧九段中学校周辺図

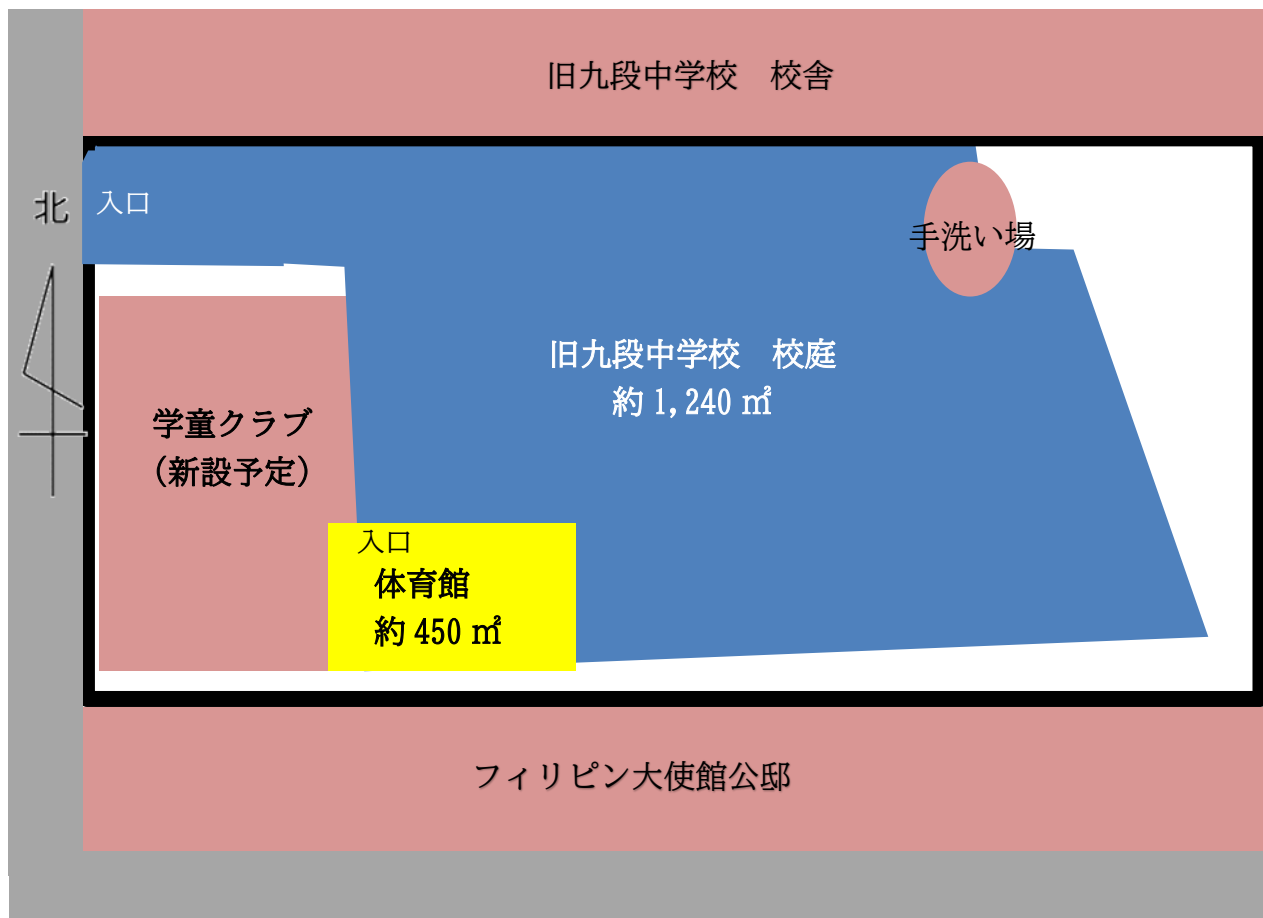


4 ふじみこどもひろば及び旧九段中学校概略図



旧九段中学校

至飯田橋



至九段下

和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備について

1) 本年度の取り組み

- 和泉公園との換地・一体的な整備により学校等施設の建て替えを実現するためには、和泉公園の都市計画変更が必要となる。
- このため、本年度からは、公園からの視点を検討に加え、公園も含めて全体の機能が向上するよう、完成後の一体的利用も含めた整備の方向性について、地域と共に整理・検討を行っている。

2) 地域への説明、検討状況（別添 1～5）

- 「和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備に向けた検討会（以下「一体的整備検討会」という）」、「周辺の町会等団体への個別ヒアリング」及び「オープンハウス型地域説明会」により、地域への説明と意見聴取を行った。
- また、検討状況をニュースレターにまとめ、和泉小学校等で配布するとともに、児童に対しては、別途、公園利用等に関するアンケートを実施した。
- いただいたご意見は、今後の施設計画等に適宜反映していくことになるが、特に、以下に示す、公園と校庭の一体的利用（兼用・タイムシェア）や配置形態に関してのご意見については、都市計画公園の区域設定の内容に大きく影響するため、早い段階で整理しておく必要がある。

【公園と校庭の一体的利用や配置形態に関するご意見】

	一体的整備検討会	個別ヒアリング	オープンハウス型地域説明会	小学校児童アンケート
対象	検討会委員	周辺の町会等団体	地域住民等	和泉小学校の児童
時期	令和 6 年 11 月 21 日	令和 6 年 12 月～	令和 7 年 2 月 7 日、8 日	令和 7 年 2 月
主なご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭は学校、園等で夕方まで活用。土曜保育もある。→公園で使える時間が短い ・校庭開放時もセキュリティが課題 ・病院への圧迫感の軽減、景観への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭が広がることは良い ・セキュリティを十分確保すべき ・公園はできるだけ広くしてほしい ・病院への動線確保 ・既存樹利用の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・運用やセキュリティの確保が整理できれば進めても良い ・兼用のイメージがつかない ・反対、校庭はランドレベルでなく覗き込まれない方が良い 	<p>[アンケート結果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園での遊具遊び、アスレチックのニーズが高い ・公園や広場で過ごすのは 3、4 年生が多い

3) 今後の取り組み

- 一体的整備検討会を通じて、本計画地において公園と校庭を兼用する場合のメリット/デメリットについて改めて整理し、兼用の有無や施設の配置形態の方向性を定め、次年度前半に取りまとめる予定の整備構想に反映する。

現施設の課題

現施設の 主な課題

- ①建物の老朽化
 - ・設備の経年劣化による故障が頻発。
- ②管理運営面での課題
 - ・学校・こども園部分と地域利用部分の動線混在。
 - ・バリアフリーへの対応が不十分。
- ③児童数への対応
 - ・学区内での就学前人口が増加傾向にあり、教室数が不足する見込み。

[現在の和泉小学校・いずみこども園等施設の構成]

敷地面積	3,963.06 m ² ※)
延床面積（全体）	11,454.9 m ²
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート構造 地上8階・地下1階

建物 構成	8階（屋上）	機械設備等
	5～7階、受付1階	ちよだパークサイドプラザ
	5・6階	いずみこどもプラザ
	1～5階	和泉小学校
	1・2階	いずみこども園
	地下1階	プール、給食調理室、防災備蓄倉庫等



※) 敷地に隣接する和泉公園の一部（約600m²）に施設の人工地盤を拡張し校庭として使用している。

整備イメージ

- 小学校・こども園の機能継続の観点から学校等施設の和泉公園敷地への移転建替えを検討
⇒ 公園との敷地交換・一体的整備
- 限られた敷地内での整備効果の最大化を図るため、校庭と公園の兼用(タイムシェア)といった一体的利用や、旧和泉町ポンプ所跡地に現ちよだパークサイドプラザの機能を分担すること等も検討



旧和泉町ポンプ所跡地



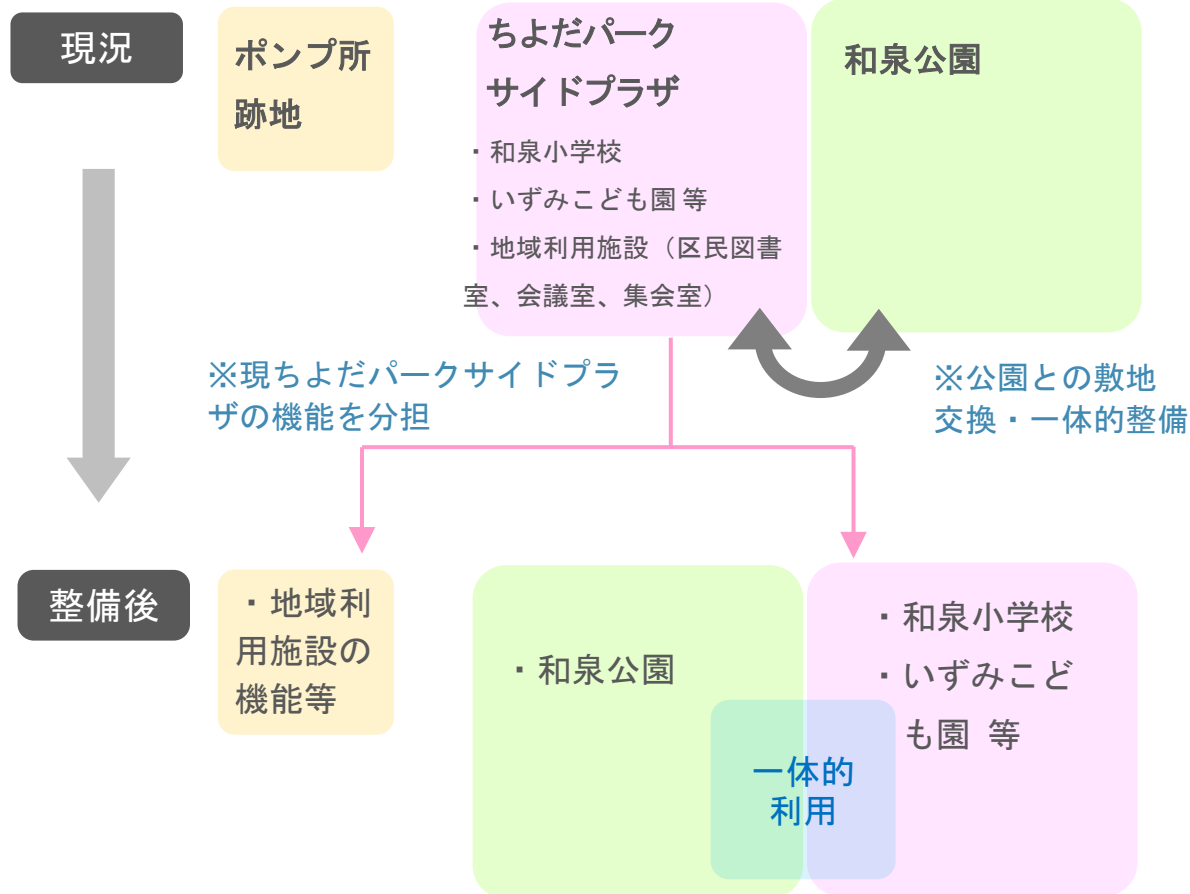
ちよだパークサイドプラザ



和泉公園(芝生広場)

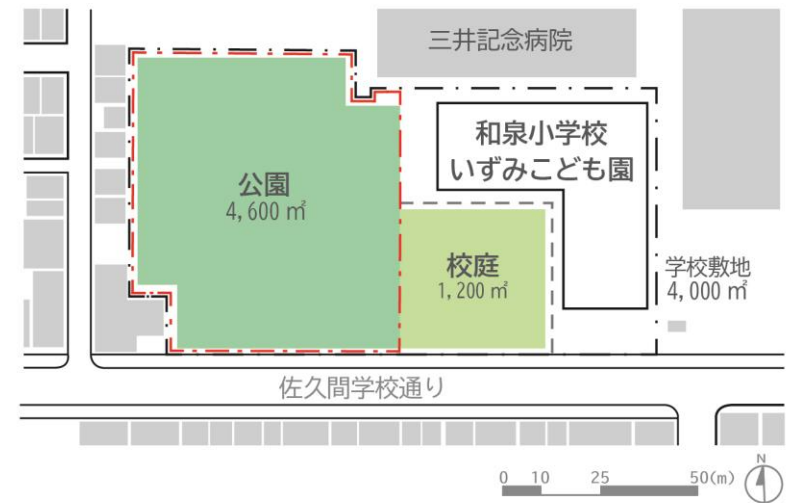
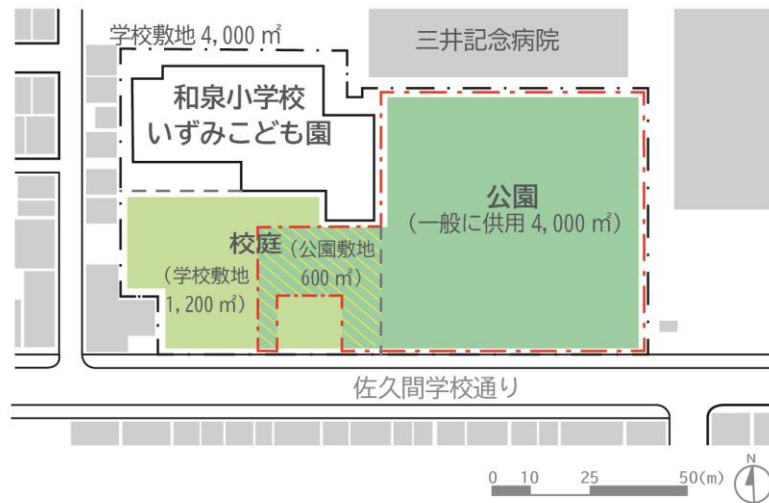


和泉公園(じゃぶじゃぶ池)



公園との敷地交換・一体的整備について

- 敷地交換により仮校舎の建設や児童・園児にとって負担となる一時移転が不要になります。また、一体的整備により新たな施設と公園を合理的に配置し、全体の機能の向上を図ることができます。
- 一方、それぞれの公共施設には設置の目的があり、利用者等に違いもあります。特に公園については、敷地の交換後、現在の都市計画決定面積(約4,600㎡)を一般利用者に供用させる必要があります。



現在の校庭: 学校敷地1,200㎡+公園敷地600㎡=1,800㎡

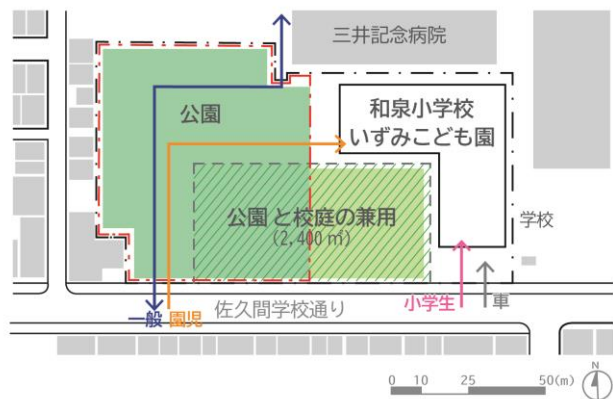
学校敷地(4,000㎡)の中で校庭を設けるため
面積が小さくなってしまう

校庭と公園の兼用(タイムシェア)
による利用可能面積の拡大※

※両敷地に跨って兼用エリアを設定。平日昼は学校の校庭、それ以外の時間帯は公園利用者と使用することで、双方にとっての利用拡充を図る。ただし、運用方法や費用、セキュリティの確保に十分留意する必要がある。

参考:公園と校庭の兼用(タイムシェア)を考慮した配置形態の検討

※都市計画公園 ■ 4,600㎡、学校敷地内校庭 ■ 1,200㎡、両者に跨る兼用エリア ■ 2,400㎡を共通として、レイアウトのパターンを整理。
 ※各レイアウトとも移転建替え完了後の姿を表現。工事期間中は、公園閉鎖となり、新校舎の校庭も学校敷地内だけで確保。



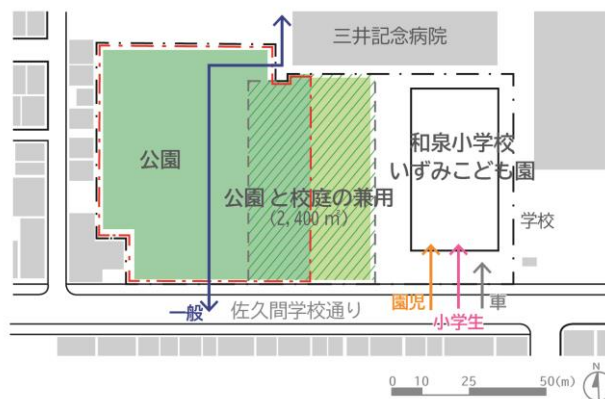
校舎:L字パターン
兼用エリア:南中央

メリット

- ・校庭に面する部分が長く、校庭と校舎との一体感がある

デメリット

- ・道路から離れた奥まった箇所に公園が位置する、道路側間口も狭い
- ・校庭の防球ネットが道路側に与える圧迫感が大きい



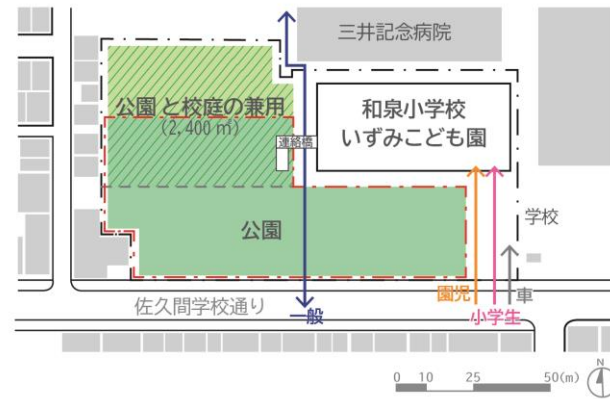
校舎:矩形—東パターン
兼用エリア:中央

メリット

- ・公園、公園と校庭の兼用エリア、それらをあわせたエリアがそれぞれまとまった整形となる

デメリット

- ・公園と施設の利用動線がはっきり分かれるため、施設と公園の関係性が薄れる



校舎:矩形—北パターン
兼用エリア:北西

メリット

- ・公園の間口が広く、出入りしやすい
- ・校庭の防球ネットが道路から離れるため、道路側が開放的

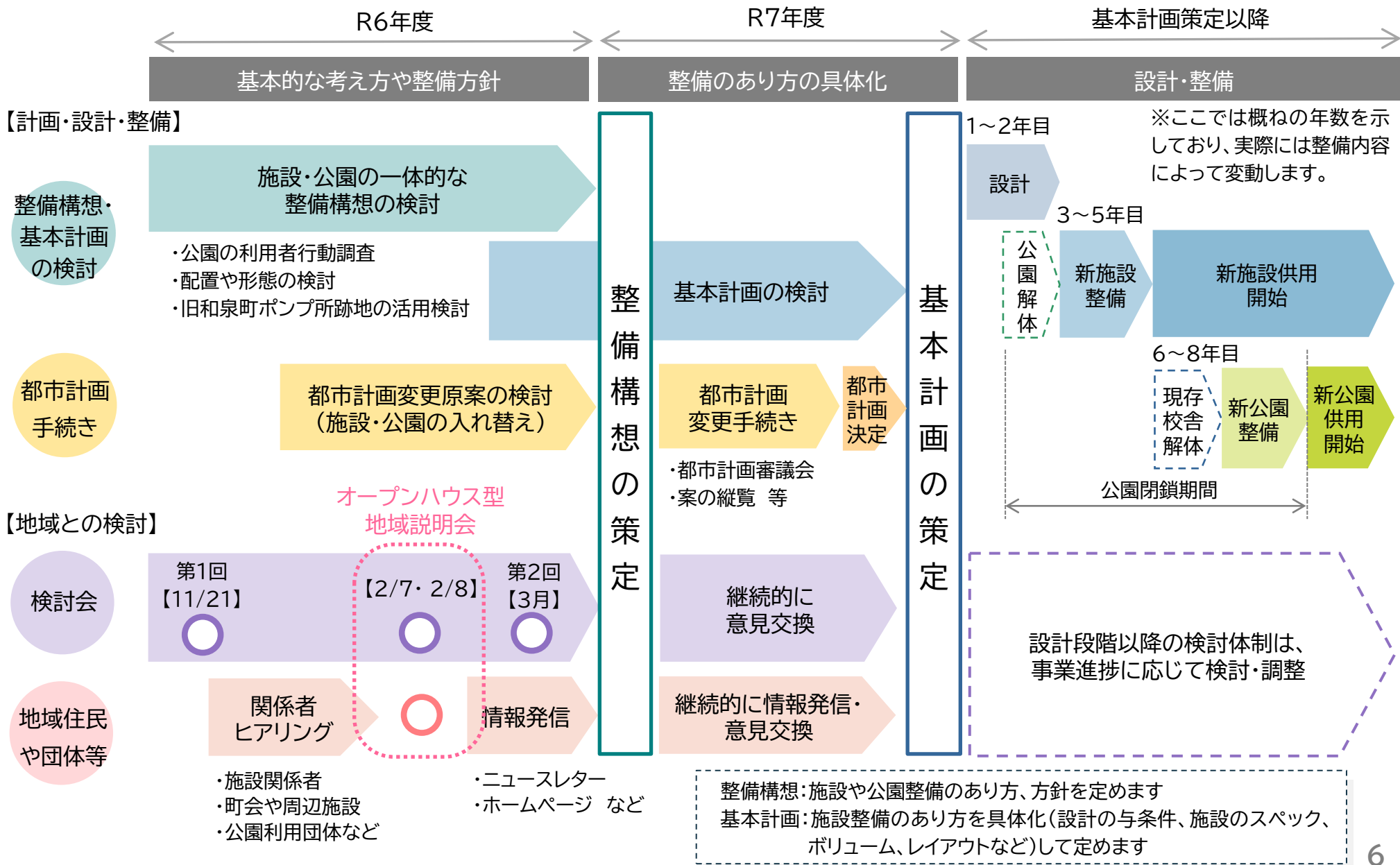
デメリット

- ・通り抜け動線確保のため、校舎から校庭への動線が歩道橋等になる
- ・冬季における公園の日当たりが比較的悪い

オープンハウス型地域説明会(R7年2月7・8日)での配置検討模型



スケジュール



第1回和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備に向けた検討会意見まとめ

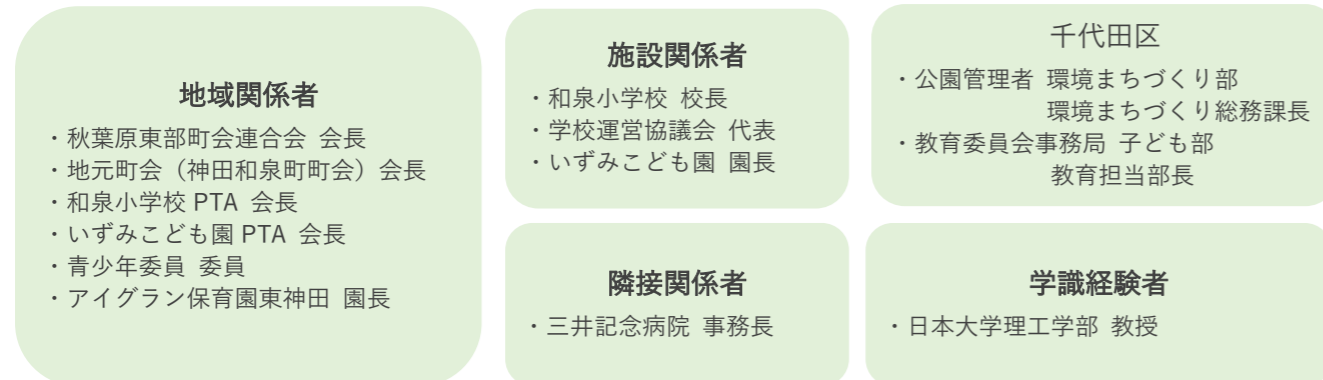
■実施概要

(1) 開催概要

日時：令和6年11月21日（木）18:00-20:10

場所：ちよだパークサイドプラザ7階会議室

(2) 参加者



■主な意見

(1) 学校等施設と公園の一体的整備に関する意見

①校庭と公園の一体的利用

- ・公園と校庭の兼用について、校庭については**小学校の終業後**でもこども園や学童が**夕方まで活用**している状況がある。**土曜保育**でも活用している。そのあたりも含めて検討してほしい。
- ・**校庭開放の際も問題になるのが安全面**。誰でも入ってこられる。**セキュリティ**が課題となるだろう。

②施設・公園の配置形態

- ・隣接する病院の入院フロアは7階から上であり、患者のことを考えると、**圧迫感の軽減**を考えてほしい。
- ・病院の公園側の入口は外来患者の入口になっており、そこからの**景観にも配慮**してもらいたい。

③スケジュール、工事期間中（公園閉鎖期間中）の配慮

- ・公園を使えない期間が長くなるのであれば、代替措置を考えていただきたい。
- ・10年先、20年先にどういふかたちが理想的かを長期的な視野で考えていただきたい。
- ・下校時は子どもが興奮して動き回るため、工事の際には安全策を考えていただきたい。
- ・生活している横での工事となるので、昼寝等に影響が出る可能性がある。

④その他

- ・高齢者と園児が一緒に交流できる場所があれば良いと思う。
- ・公園と校庭を一体的に整備するという案には困難もあるかもしれないが、是非ワクワクするようなものになるよう検討を進めてほしい。
- ・小学生が医療に携わりたいと思ってもらえるような、何らかのプログラムや連携を考えても良いのでは。

(2) 施設に関する意見

①施設全体

- ・現施設の校庭では、火事、災害時に消防車等の緊急車両が入れない。
- ・児童が授業間に移動しやすいように検討していただきたい。

②和泉小学校校舎

- ・区民図書室のスペースを小学校の図書館として使えないか。現在は、児童数の増加に伴い、廊下に本を置いている。

③いずみこども園

- ・こども園への送り迎えの動線をスムーズにしていただけると保護者は嬉しい。南から登園する保護者が多いため、その方向からのアクセスのしやすさを考慮した計画としてほしい。

(3) 公園に関する意見

①日常利用

- ・この公園は風があるときにビル風が強くなり、ほこりや土が舞い上がり痛いくらいになる。風の問題は解決できるとよい。
- ・ボール遊び禁止だが、ルールがおざなりになっている。休日は、フェンスのある校庭を高学年が球技に使えるようになると良いのでは。
- ・トイレの入り口が道路側に面しているおり、公園側からは見えなくなってしまう。代替園庭として使用する際は、職員が誰かついていかなければいけない。

②災害時の利用

- ・今の公園には災害対策用井戸がある。断水時に必要。新たな公園を整備する際には、井戸についても考える必要がある。

③その他

- ・じゃぶじゃぶ池は重宝している。工事期間中に使えなくなることが心配。
- ・秋葉原の繁華街に近いことで、治安面での不安もある。

(4) 旧ポンプ所跡地の活用に関する意見

- ・子どもが遊べる場所になれば、周辺の保育園にとっても良いのでは。
- ・和泉公園の多機能化として、部屋の中で出来る活動はポンプ所跡地での建物を活用し、外の活動は公園を活用するという考え方もあるのでは。
- ・あえて学校から離れていることを活かした、様々な児童のための居場所というアイデアもあるかもしれない。

個別ヒアリングの概要

■実施概要

(1) 目的

- ・学校関係者、施設運営者、地元関係者、施設及び公園の利用者等を対象に個別にヒアリングを行い、現在の施設及び公園が抱える課題、移転建て替えへの期待等を詳細に把握し、整備構想に反映する。

(2) ヒアリング対象者

施設関係者	施設、公園の利用者	地元住民組織	周辺施設、その他
<ul style="list-style-type: none"> ・和泉小学校 ・いずみこども園 ・いずみこどもプラザ ・ちよだパークサイドプラザ 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺保育園 ・校庭、公園利用団体（少年野球チーム、ボーイスカウト、子どもの遊び場事業など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元町会の会長、役員（神田和泉町町会、神田佐久二平河町会、神田佐久間町三丁目町会、神田佐久間町四丁目町会、東神田三丁目町会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・三井記念病院 ・和泉橋出張所 ・消防団 など

※関係者ヒアリングは、必要に応じ引き続き実施予定。和泉小学校児童には、児童アンケートを実施。

■主な意見

(1) 学校等施設と公園の一体的整備に関する意見

①学校等施設と公園敷地の入れ替え

- ・閉校期間がなく、校舎や校庭が利用できるならば、問題ない。

②校庭と公園の一体的利用

- ・現在の校庭は狭いため、スペースが広がるのはよい。運動会やイベント時に公園とタイムシェアできると良い。
- ・建物入口の一元化など、建物側、公園側のセキュリティを十分に確保すべき。
- ・校庭と公園の段差を解消できると良い。
- ・江東区の臨海小学校の例では、可動式門扉を設けて公園・校庭の一体的利用を実施している。その場合の門扉開閉等の運営は学校関係者以外で対応してほしい。

③施設・公園の配置形態

- ・不特定多数の人が利用する公園部分は佐久間学校通りに面していた方が良い。
- ・新しい公園はできるだけ広くしてほしい。周辺保育園が代替園庭として和泉公園を利用しているが、現在でも狭く感じている。
- ・公園が奥になる場合、明るさや外から見通しやすい環境を整えるなどの工夫が必要である。
- ・公園は、奥行があり、道路との間に十分な距離がある方が利用はしやすい。
- ・病院は秋葉原方面からの利用者が多いため、佐久間学校通りから公園を通り抜ける動線を確保してほしい。学校の東側から回り込んで病院と行き来する動線があっても良いかもしれない。
- ・施設1階部分をピロティにしてそこを公園とし、2階以上に主要施設を入れると、校庭と公園の必要面積を確保できるのではないか。
- ・限られた敷地の中で園庭を1階に設けるのはもったいない印象。別のレイアウトも検討できないか。
- ・レイアウト検討の中で既存樹を利用した形（残置、移設）を検討できないか。佐久間学校通り沿い

の大きい樹木2～3本は、日影や緑の維持のため残してほしい。

- ・施設整備後の新たな出入口の配置によっては、横断歩道の位置を変える、もしくは新設が必要となるのでは。

④スケジュール、工事期間中（公園閉鎖期間中）の配慮

- ・公園の閉鎖期間が長いことは気がかり。公園閉鎖期間の対応を検討してほしい。
- ・工事の詳細見通しはいつごろ分かるのか。
- ・設計から供用開始までの期間をできる限り短くできると良い。
- ・工事途中の新旧施設がある段階では、校庭や公園は狭くなるのが気がかりである。
- ・和泉公園は、1～2歳児が安全に使える貴重な空間（芝生・走り回れる空間・砂場等）がある。
- ・3～5歳児は遊具を使用するが、和泉公園でなくとも佐久間公園・神田児童公園・旧今川中学校の校庭なども利用可能である。
- ・代替公園には、特に1～2歳向けの遊具・遊ぶスペースを設けてほしい。佐久間公園は公園からすぐ道路へ出られてしまう。旧ポンプ所跡地は歩いて行けるが、遠い。
- ・佐久間学校通りから三井記念病院へのアプローチは、工事中も動線を確保してほしい。
- ・暫定措置でも良いので、工事中の納涼大会やラジオ体操ができる場所を確保してほしい。ラジオ体操は夏休みの朝なので、新しい校庭を使用できると良い。

(2) 施設に関する意見

①施設全体

- ・小学生と園児が日常的に顔を合わせる環境は教育的にも良く、維持したい。
- ・老若男女が小さい子と触れ合えるなど、世代間で親睦が深まるような施設になると良い。
- ・三井記念病院の病室からの見晴らしを考えると、高さを抑えるなど少しでもゆったりしたものにしてほしい。将来的に7階を通常の一般病室に使用する可能性もある。
- ・地区の防災対策拠点となる場所。救援物資の受け取りや、洪水浸水への対応も考慮が必要である。緊急医療救護所用資器材を置けるようなスペースを確保してほしい。
- ・防災倉庫は浸水の可能性が指摘されており、体育館の近くなど、設置場所を検討してほしい。
- ・学校施設の安全性を確保するため、階段やエレベーター等の動線は明確な区分が必要である。
- ・画期的なITを取り入れるなど、最先端な技術を用いた施設にしてほしい。

②和泉小学校校舎

- ・災害時に複数方向避難ができる動線計画が必要である。
- ・現在の教室や職員室は狭い。ロッカーやタブレット等を置く場所、会議室があると良い。
- ・多目的ルーム、図書室、身体を動かせる屋内スペース、男女別更衣室・休憩室があると良い。
- ・フロアの中央に図書室があると良い。
- ・職員室と保健室は校庭に面して配置してほしい。
- ・運動会のために、校庭に面した位置に放送室を設置できると良い。
- ・特別支援拠点校であり、適切な環境を設えた通級指導教室、相談室（3～5部屋）があると良い。
- ・教室に馴染めない子どもたちの居場所機能など、多様性を受け入れ、様々な背景の人が集える施設整備が必要である。
- ・小学校の音楽室で和太鼓・囃子の練習をしており、和太鼓は体育館に、囃子の太鼓も施設内に保管している。移動用のかご（既製品のボールかご。太鼓や体育館）が通るように、通路、エレベーターの幅を確保してほしい。

③いずみこども園

- ・現在の施設は当初からこども園として計画された施設ではない（当初は、幼稚園・保育園が別々だった）。
- ・将来の園児数増加も見据えて、対応できる施設計画としてほしい。
- ・独立した玄関、ベビーカー専用置き場、園児数・職員数に対応した各室（調理室、休憩室、更衣室、倉庫、体調不良の園児の待機室など）があると良い。
- ・保育室と同じフロアで直結し、職員室から目が届きやすい園庭があると良い。
- ・園庭は、夏場の日よけスペースも必要である。

④いずみこどもプラザ

- ・学童クラブは、現在30名×3部屋を使用しているが、スペースは不足している。
- ・いっとき預かり保育は、6～最大10名程度が利用。5階の区民図書室奥の一部屋を活用している。
- ・現状、5～7階にわかれているが、ワンフロアに収まると安全面からも良い。ボール遊び等に適した体育施設、工作室、調理室、防音の部屋等もあると良い。

⑤校庭

- ・平日は、放課後子ども教室「あそび」（～16時）、その後はこども園の園児が利用している。
- ・休日8時半から17時頃まで少年野球チームが利用している。
- ・納涼大会では、校庭を利用。来場者が増えたため近年は校庭と公園の両方を使い開催している。
- ・グラウンドは土埃が立たない天然芝が望ましい。
- ・近年の夏の猛暑対策（陽射し避け、ドライミスト等）は必要である。
- ・既存の小学校校庭設置ネットの高さ（約8m）ではボールが飛び越えるため、新施設では21mを希望する。
- ・校庭は正方形で広い場所が望ましい。
- ・短距離走の計測基準を満たす直線コース50m（50メートル+αのサイズ）を確保することができると、児童にとって体力向上の励みとなるのではないか。

⑥その他

- ・パークサイドプラザの会議室は町会、近隣企業の会議等で利用している。
- ・和室は地域のクラブ活動、こども園、こどもプラザ等で利用している。
- ・町会と小学校で使用している校庭下倉庫は、整備後も確保してほしい。手狭になってきている。
- ・少年野球の用具は、校庭及び校庭下の2か所の倉庫に保管している。整備後も同程度の大きさがあると良い。
- ・プールは一般開放して利用する場合、大人から幼児まで利用することになるため、年齢に応じた使い方ができるようにしてほしい。
- ・プールは、利用率が低ければ近隣のスポーツ施設等で代用することも検討すべきではないか。

（3）公園に関する意見

①日常利用

- ・平日の午前中（～11時頃）は、周辺保育園児が多い。昼は近隣のサラリーマンや病院の職員、午後には小学生、中学生（15時以降）が利用し、フルに活用されている。
- ・外神田、台東区も含めてかなりの保育園が園庭代わりに午前中利用。少し分散できないと厳しい。
- ・患者からの希望があれば、看護師が付き添い、散歩のため公園を利用することはある。
- ・子どもたちが自由に工夫して遊べるような、広々とした自然豊かな環境を整えることが重要である。
- ・トイレは、現状では子どもの姿が見えにくいので、トイレ入口を公園側に設けてほしい。
- ・じゃぶじゃぶ池は就学前の子どもが多く利用。じゃぶじゃぶ池、ベンチの機能は残してほしい。
- ・夏場でも遊べる環境を整えてほしい（大きな日陰をつくる樹木とミストを設置など）。
- ・遊具（乳児、幼児向けのどちらも）、芝生やゴムクッションで自由に走り回れる場所があると良い。
- ・ボール遊びOKな場所があると棲み分けができて良い。
- ・高齢者向けに公園内に健康遊具を配置した方が良い。
- ・現在は土埃が立つので、天然芝の公園が良い。
- ・和泉公園の入り口付近にある花壇をこども園で借りて利用しており、空間を確保してほしい。
- ・樹木や植物が多いことは良いが、死角が多いことは気付きである。

②イベント、行事などの利用

- ・連合町会の納涼大会、合同ラジオ体操に利用している（いずれも年1回）。
- ・納涼大会は、既存の校庭が使用できるのであれば問題ないが、校庭は飲食禁止のため、校庭のみでの開催になる場合、暫定的に飲食を可能とできないか。
- ・表面（舗装）がゴム製の場合、大きな櫓は建てることできない。
- ・イベント等の際に使用しやすい分電盤等があると良い。
- ・平常時とイベント時の切り替え（納涼大会時の遊具の利用制限等）がしやすいと良い。

③災害時の利用

- ・緊急災害時の軽傷患者等のトリアージ空間を公園に設けることになっている（発災直後は病院で対応、その後区に引き継ぎ）。十分なスペースを確保できるよう配慮が必要である。
- ・災害時、井戸水を浄化して医療に活用するなども想定している。井戸水は重要である。

④その他

- ・和泉公園は管理事務所がないため、パークサイドプラザで管理していると勘違いしている人がいる。新しく整備するにあたって、いつも人がいる状況はあった方が良い。
- ・新しい公園は喫煙者対策やハトの糞対策をしてほしい。

（4）旧ポンプ所跡地の活用に関する意見

- ・地域で利用する機能は、公園の近くにあると利用しやすい。
- ・千代田区の中なかでも端に位置している。和泉小学校の卒業生や周囲の中高生が使うにしても、職員がいる安心感が大事であり、自習室だけのニーズはあまり無いのではないか。
- ・区境付近の場所のため、地域の会議室としての利用は考えにくい。特定のターゲットを対象とした施設（高齢者福祉施設等）が良いのではないか。

オープンハウス型地域説明会の概要

■実施概要

(1) 目的

- ・現在の検討状況を周知するとともに、学校等施設や公園の課題、整備の方向性について、広く意見を伺う。

(2) 実施概要

- ・日時 : ① 2025年2月7日(金) 18:00~20:00 / ② 2月8日(土) 10:00~12:00
※参加者によって参加しやすい日時が異なるため、同じ内容で平日夜間、休日(土曜)日中の2回を設定
- ・会場 : ちよだパークサイドプラザ7階 会議室A・B
- ・方法 : オープンハウス型(開場の時間内であれば任意に入場・退場可)とし、パネル・模型展示、スライド投影を行い、担当者による説明・意見交換を実施。
- ・来場人数: 2月7日(金) 23名 / 2月8日(土) 15名 ※左記人数は来場名簿に記載いただいた数

【当日の様子】

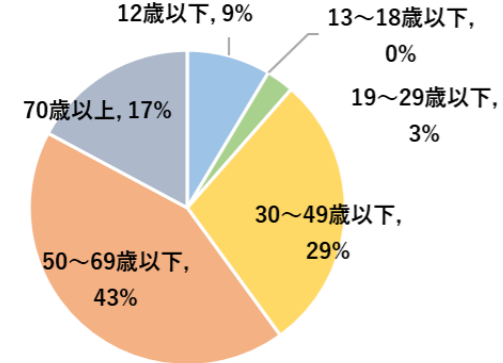


【展示した模型と配置パターン】



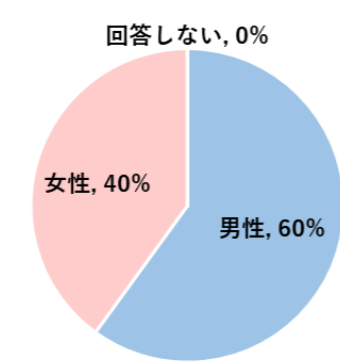
来場者の属性 (アンケートより 回答総数: N=35)

【年齢】



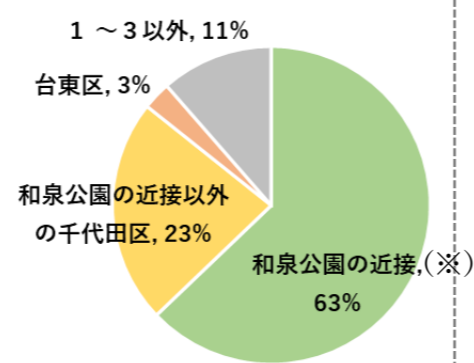
・50~69歳以下が4割以上、30~49歳以下が約3割

【性別】



・男性が約6割、女性が約4割

【居住地】

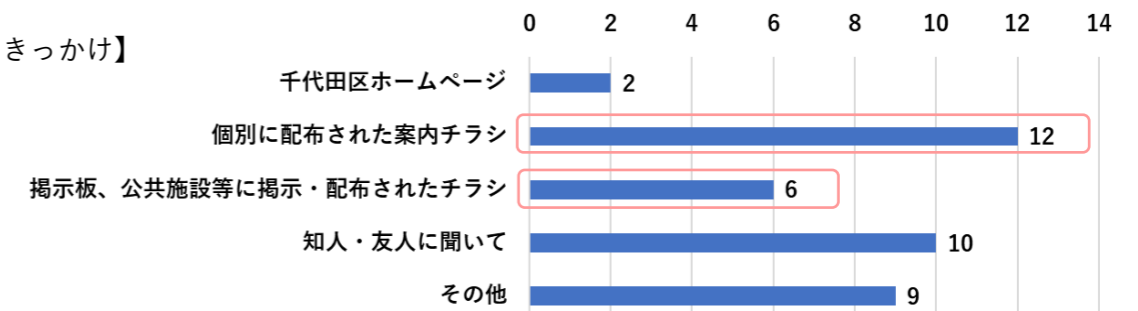


・和泉公園の近接(※)にお住まいの方が6割以上

※和泉公園の近接: 神田和泉町、神田佐久間町2~4丁目、神田平河町、神田佐久間河岸、東神田3丁目

来場者の意見 (アンケートより 回答総数: N=35: 複数回答可)

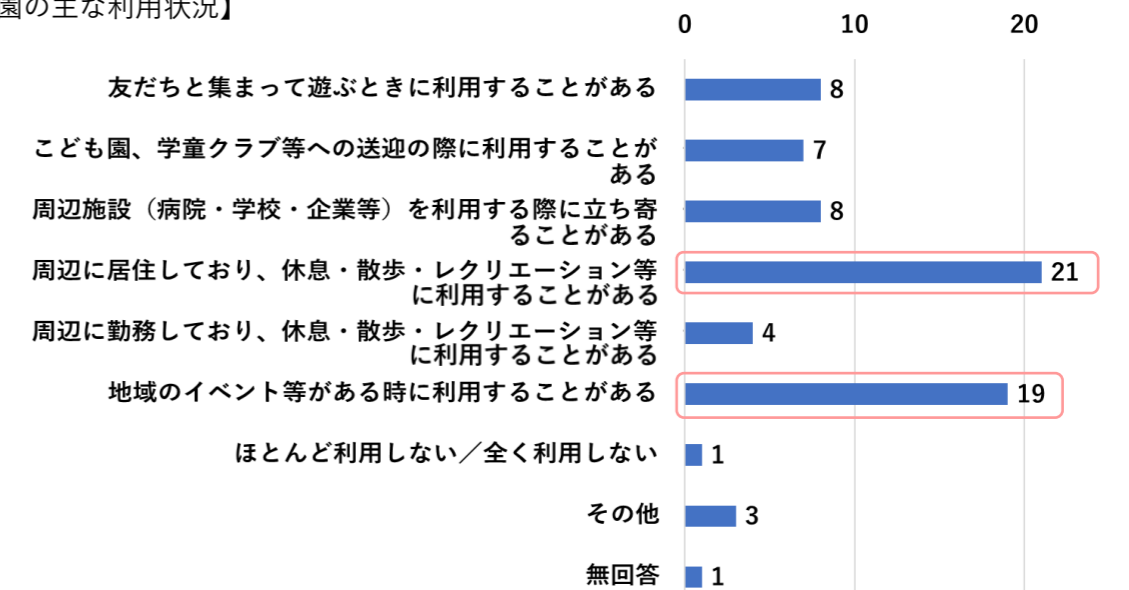
【来場のきっかけ】



・個別に配布された案内チラシ、友人・知人に聞いて参加した方が多い

<その他の記述> ※ () 内の数字は複数意見があるもの
・町会からお知らせ
・学校からもらって来た資料
・和泉小前のチラシ配布 (2)

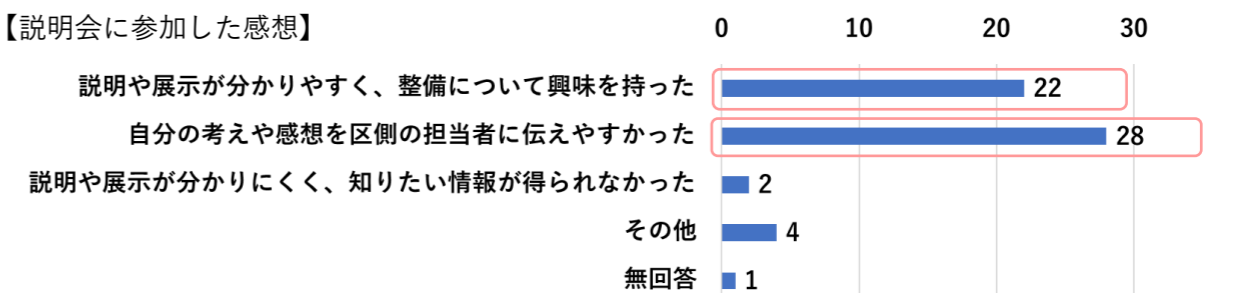
【和泉公園の主な利用状況】



・周辺に居住しており、休息・散歩等に利用することがある方、地域のイベント等がある時に利用することがある方が多い

<その他の記述>
・孫を遊ばせる/子どもが利用している
・夏季合同ラジオ体操の時に利用

【説明会に参加した感想】



・自分の考えや感想を区側の担当者に伝えやすかった方が約8割、説明や展示が分かりやすく、整備に興味を持った方が約6割

<その他の記述>
・計画が多くありイメージがつかめなかった。
・予想より先の計画だったが理解出来た。
・紙面だけでなく、立体的な展示があり、一方的でなく分かりやすかった。
・またやって下さい。

■主な意見

(1) 学校等施設と公園の一体的整備に関する意見

①学校等施設と公園敷地の入れ替えについて

- ・仮移転なく、一回の引っ越しで済むのはよい。
- ・敷地を交換することで、現在の公園用地の樹木等の自然、生態系が失われることが懸念される。

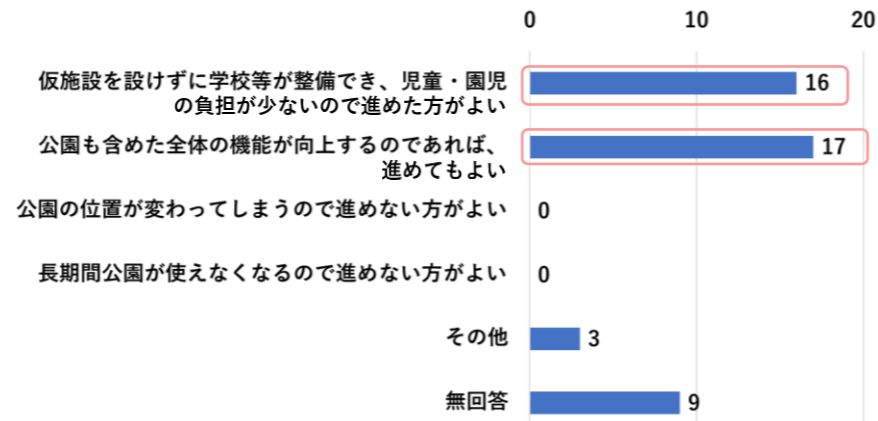
来場者の意見（アンケートより 回答総数：N=35：複数回答可）

【学校と公園の敷地を交換し、一体的に整備する考えについて】

・5割近い参加者が「仮施設を設けずに学校等が整備でき、児童・園児の負担が少ないので進めた方がよい」、「公園も含めた全体の機能が向上するのであれば、進めてもよい」と回答

<その他の記述>

- ・学校の老朽化を考えたら必要だが、公園が使えなくなるのは困る。代わりになる公園を先に確保してほしい。
- ・オフィス街や電気街の人達が利用すると思うけど、セキュリティが万全なら進めてよいと思う。



②校庭と公園の一体的利用

- ・兼用する場合も施設への動線はスムーズになるようにしてほしい。
- ・校庭と公園を兼用することは**反対**。校庭の高さはグラウンドレベルではなく、覗き込まれない方がよい。
- ・公園の面積が平日3-4割を校庭にとられることは気になる。
- ・校庭開放時のセキュリティが気になり。校庭開放の対象（小学校通学者など）はどうするか。
- ・セキュリティラインの設え、仕切り方も要検討。

来場者の意見（アンケートより 回答総数：N=35：複数回答可）

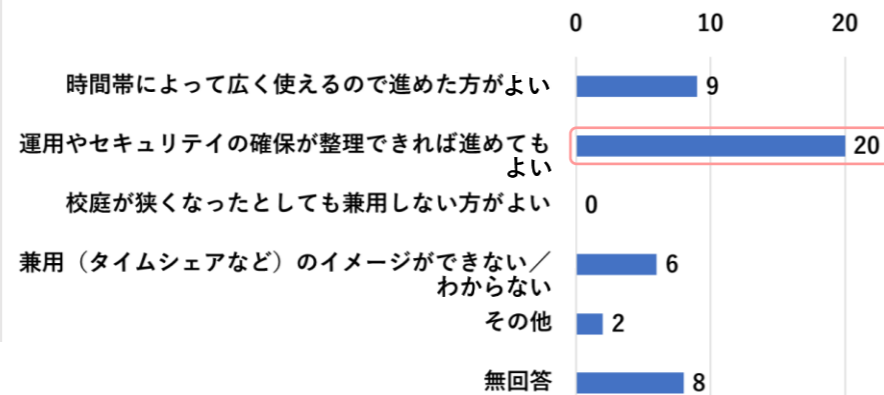
【校庭と公園を兼用（タイムシェアなど）する考えについての感想】

・「運用やセキュリティの確保が整理できれば進めてもよい」が約6割、「時間帯によって広く使えるので進めた方がよい」が約3割

・一方で、2割近くが「兼用（タイムシェアなど）のイメージができない／分からない」と回答

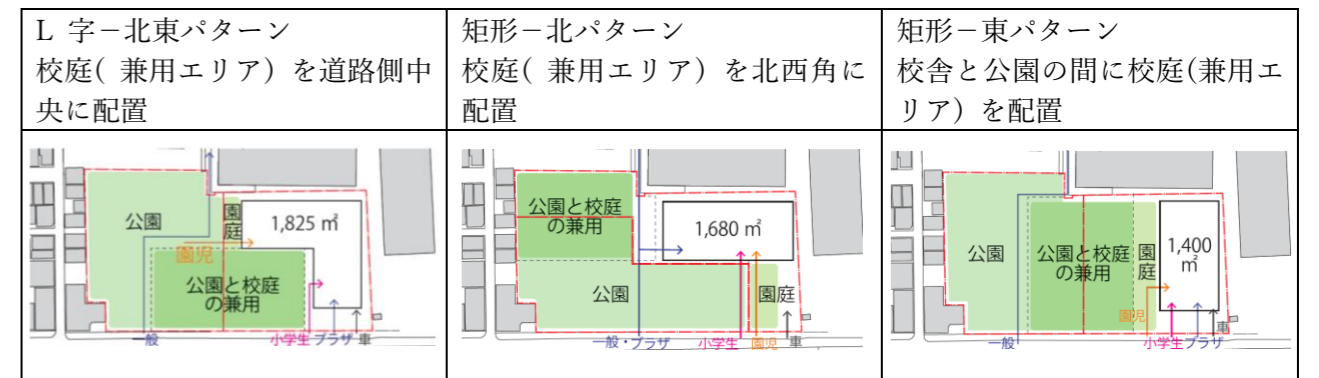
<その他の記述>

- ・いつでも使用できる公園にしてほしい
- ・丁寧な合意形成が必要だと思う。



③施設・公園の配置形態

- ・病院への配慮や施設の使いやすさで形が決まるとよい。
- ・病院の前面なので、高さを抑えるに越したことはない。
- ・佐久間学校通り～病院への抜けは残してほしい。現状は狭い。
- ・緊急時の病院への車両アクセスを確保してほしい。
- ・佐久間学校通りに公園が面しているとよい。／公園は防犯上も奥がよい。
- ・現状より少しでも風が弱くなる施設配置だとよい。
- ・小学校が道路に近いと、アプローチが不安。
- ・子ども園と公園のアクセスは直で行きたい。
- ・病院に直面する建て方としてもL字パターンが良さそう。
- ・L字パターンは、奥まった公園が少し不安。
- ・矩形の北案はよい。防球ネットの開閉は、公園～校庭を一体化しやすく配慮してほしい。
- ・矩形-北パターンが防犯上、地域利用としてよいと思う。
- ・校庭は北側、施設を南側に配置することで日陰をつくれるとよい。暑すぎて外に出られない。
- ・学校の移設にあわせて、目の前の横断歩道も動かす必要がある。



(2) 施設に関する意見

①施設全体

- ・学校、こども園、こどもプラザ、子どもに開かれる施設・機能は、この場にまとめられるとよい。
- ・子どもに関する機能を集約するのはよいが、地域拠点、多世代交流の場でもあることを意識してほしい。
- ・先生方や子ども達の意見も反映した計画としてほしい。
- ・児童数が減っても多目的に使えるよう、将来的な利用を想定した計画としてほしい。
- ・次世代のモデルとなるような小学校になるとよい。
- ・屋上に植栽（緑）を設置して、病院からの見え方に配慮してほしい。
- ・木造校舎にできないか。できなくても木質をできるだけ多く。

②和泉小学校校舎

- ・今も児童数に対して教室数がぎりぎりのため、児童増加を考慮した方がよい。
- ・小学校の図書スペース、廊下に本があるのは、日常的に本に触れあうことができるためよい面もある。

③学童スペース

- ・学童、様々な活動ができるスペースがあるとよい。(工作、音楽、アート、STEAM教育など)
- ・学童スペースが不足。3年生くらいになると入れない。

④校庭

- ・夏暑すぎて遊べないので、公園、校庭は日陰が多い方がよい。
- ・校庭はグラウンドレベルより高くしてほしい。周りの目が気になる。
- ・50m直線コース（ゴール後の走り抜け長さも含め）をとれるとよい。
- ・校庭はぜひ芝生にしてほしい。
- ・高木をできるだけ残し、低木でごまかさないとよい。

⑤その他

- ・地域（町会等）が会議に使えるような多目的スペースがあるとよい。
- ・雨をしのげるピロティ空間があるとよい。
- ・自然風を取り入れてほしい。
- ・地域で使える倉庫があるとよい。地下でもよい。
- ・区の住民サービスをDX等で受けられる設備があるとよい。
- ・プールにすべり台、ジャグジーをつけてほしい。

(3) 公園に関する意見

①日常利用

- ・砂埃が舞わないようにしてほしい。
- ・芝生にしてほしい。
- ・ボール遊びができるとよい。
- ・トイレの位置、出入口は防犯に配慮してほしい。
- ・じゃぶじゃぶ池は重宝している。幼児と乳幼児で少し動線を分けられるとよい。夏場のみ仮設で着替えができるテント、カーテンなどを設けられないか（災害時も使えるのでは）。
- ・錦華公園のような水の流れ、水がきれいに維持、管理できる設えを検討してほしい。

②イベント、行事などの利用

- ・北からの強風で納涼大会のテントが建てられなかった。
- ・水道、電気が必要。
- ・納涼大会の台は重いので、置いても問題ない舗装にしてほしい。

③災害時の利用

- ・大規模災害発生時、和泉公園は緊急医療救護所として活用される。公園内にテントなど救護活動に必要な備品をストックするための防災備蓄倉庫を設置できるとよい。
- ・災害時、教育の面でも井戸があるとよい。
- ・トリアージ空間としての利用も想定し、公園に屋根付きスペースがあるとよい。

④樹木・歴史的資源の継承

- ・桜の移植を検討してほしい。桜を残してほしい。
- ・桜の木が記念樹になっている可能性がある。
- ・石垣は前公園から継承したものであり残せないか。
- ・木にも土にも、生き物が住んでいる。できたら保存してほしい。

⑤その他

- ・代替地でもイベント用のインフラ確保が必要。
- ・工事中も、じゃぶじゃぶ池の代替があるとよい。
- ・予約等の管理運営が必要になるが、運動公園的な使い方はあるかもしれない。
- ・指定管理とするのはよい。

(4) 旧ポンプ所跡地の活用に関する意見

- ・プラザには多世代交流の場としての意義もある。ポンプ所跡地は少し遠い。
- ・公園で遊び、帰りに本を借りる流れがあるので図書室は施設にあるとよい。
- ・図書室は、子どもスペース、子ども向け図書閲覧スペースを充実させて施設に残してほしい。公園が雨で使えない時に親子で使えるように。
- ・区民図書室と学校図書館をあわせ、一般開放できる図書館となるとよい。
- ・図書の貸し借りは、施設に来るついでにしたい。貸し借りカウンターだけでも、施設1階にほしい。
- ・大人のワーキングスペースなどがポンプ所にあるとよい。
- ・音の出る特殊な練習などはポンプ所でもいいのではないか。

和泉小学校児童アンケートの実施結果

■実施概要

(1) 目的

- 施設、公園整備における期待について小学校児童の率直な意見を把握し、整備のあり方や方向性を定める基本構想に反映する。

(2) 方法と対象

- 方法：WEBアンケート（URLまたは二次元コードからアンケートフォームにアクセス）
- 対象：令和7年2月1日時点で小学校に在学している児童（1年生から6年生まで）

(3) 設問概要

- 令和4年度に実施したアンケート調査では、当時の和泉小学校児童1～6年生（現在の3～6年生）に、現在の小学校校舎の使いやすさ、新しく計画される校舎に「あったらいいな」と思う場所、和泉公園の利用状況について聞いている。
- 本調査は、補足調査として、新しく計画される公園等について回答いただいた。

令和4年度アンケート 設問

- 回答者の属性について（学年）
- 現在の施設環境について
 - 現在の小学校で使いやすい場所
 - 現在の小学校で使いにくい・もっとよくしてほしい場所
- 新しく計画する施設環境について
 - 新しく計画する校舎に「あったらいいな」と思う場所
- 和泉公園について
 - 公園を利用する頻度
 - 公園でしている活動

令和6年度アンケート 設問

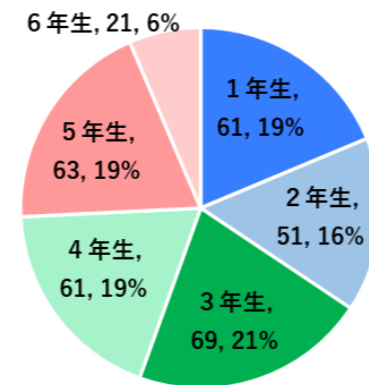
- （今回実施、令和4年度アンケートの補足調査）
- 回答者の属性について（学年）
 - 新しく計画する公園環境について
 - 新しい公園で「できたらいいな」と思うこと
 - 放課後に過ごす場所について
 - 放課後に過ごす場所
 - 家庭と学校のほかに過ごす場所の環境について
 - 家庭と学校のほかに「あったらいいな」と思う場所

(4) 回答期間、回答率

- 回答期間：2025年2月3日（月）～2025年2月14日（金）
- 学年別回答率

学年	回答数 （）内は児童数に対する回答割合	児童数 ※R7.1月時点
1年生	61 (109%)	56
2年生	51 (80%)	64
3年生	69 (96%)	72
4年生	61 (86%)	71
5年生	63 (95%)	66
6年生	21 (38%)	56
計	326 (85%)	385

【全回答数に対する学年別回答割合】

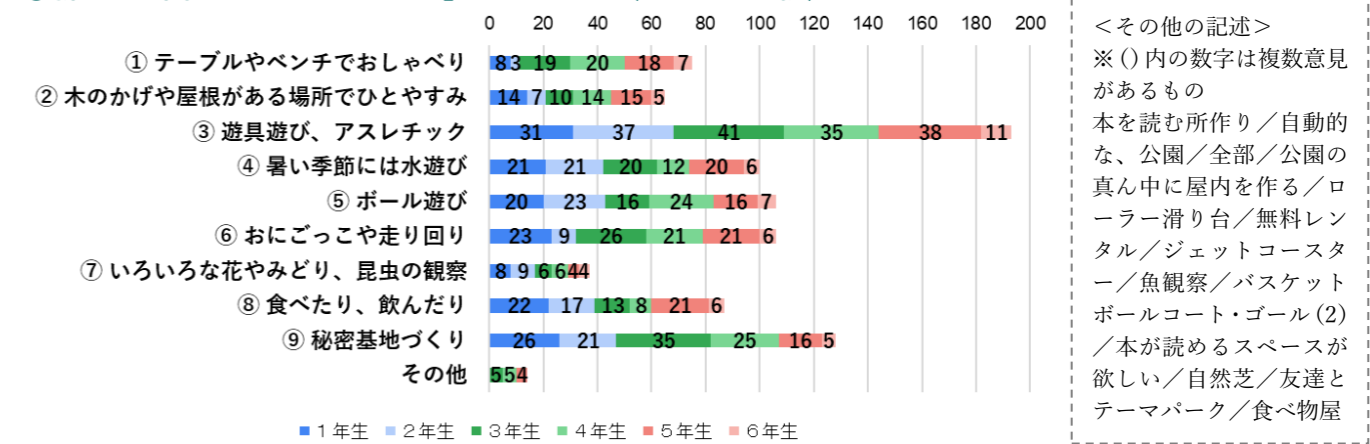


※グラフ中の表記は、[学年,回答数,回答割合]を表す

- ※1年生の回答割合が100%を超えていることについては、①1人の回答者が複数回答している、②2年生で1年生と回答した児童がいる等が要因として考えられる。

■結果概要

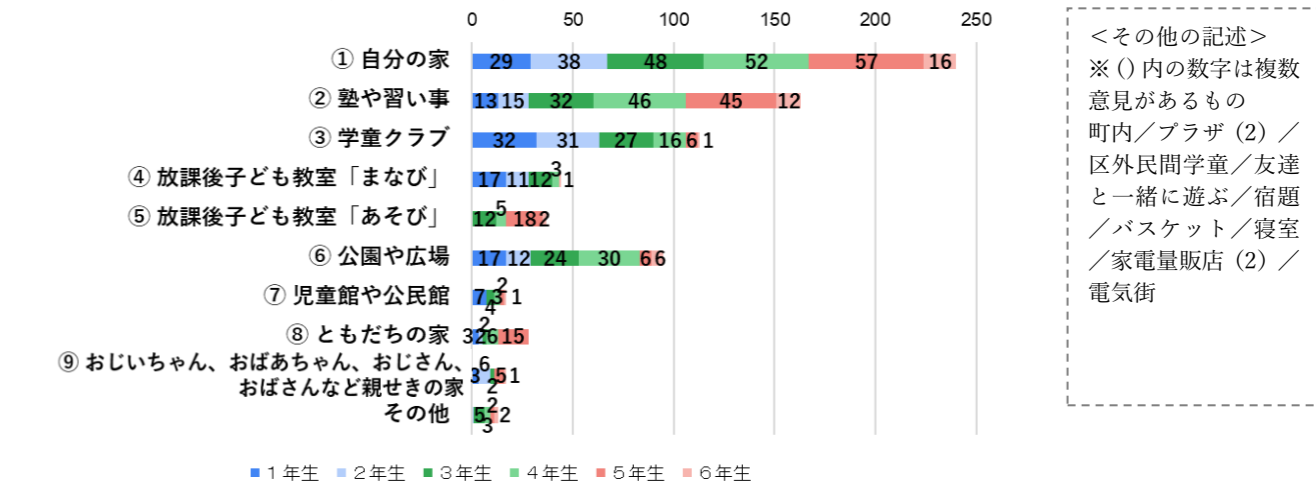
①新しい公園で「できたらいいな」と思うこと（3つまで選択） N=326



<その他の記述>
※（）内の数字は複数意見があるもの
本を読む所作り／自動的な、公園／全部／公園の真ん中に屋内を作る／ローラー滑り台／無料レンタル／ジェットコースター／魚観察／バスケットボールコート・ゴール(2)／本が読めるスペースが欲しい／自然芝／友達とテーマパーク／食べ物屋

- ・「遊具遊び、アスレチック」は、すべての学年で最もニーズが高い。
- ・次いで、「秘密基地づくり」、「水遊び」、「ボール遊び」、「おにごっこや走り回り」など身体を動かして遊ぶ活動に対するニーズが高い。

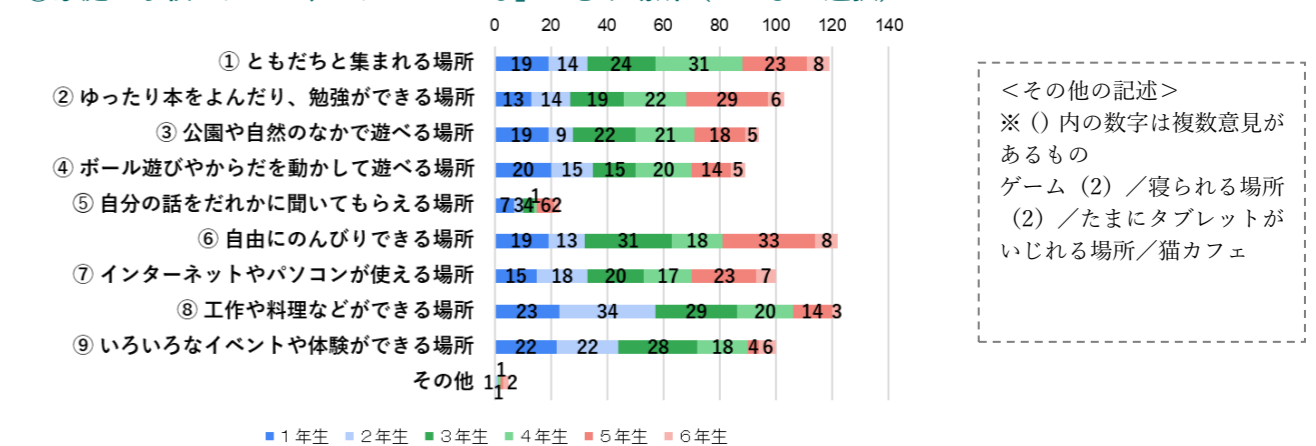
②放課後に過ごす場所（3つまで選択） N=326



<その他の記述>
※（）内の数字は複数意見があるもの
町内／プラザ(2)／区外民間学童／友達と一緒に遊ぶ／宿題／バスケット／寝室／家電量販店(2)／電気街

- ・「自分の家」、「塾や習い事」が多いが、1～2年生では「学童」が多い。
- ・「公園や広場」で過ごすのは、3～4年生が最も多い。

③家庭と学校のほかに、「あったらいいな」と思う場所（3つまで選択） N=326



<その他の記述>
※（）内の数字は複数意見があるもの
ゲーム(2)／寝られる場所(2)／たまにタブレットがいじれる場所／猫カフェ

- ・1～2年生は「工作や料理ができる場所」、3～4年生は「ともだちと集まれる場所」、5～6年生は「自由にのんびりできる場所」に対するニーズが最も高い。
- ・「公園や自然の中で遊べる」「ボール遊びやからだを動かして遊べる」等の動的な活動、「ゆったり本を読んだり、勉強ができる」「インターネットやパソコンが使える」等の静的な活動、「工作や料理」「イベントや体験」などの体験型の活動は、それぞれニーズが高く、多様な場所が望まれている。